科目ナンバリング	U-LAS04 20025 SJ46						
授業科目名 <英訳>	視覚科学基礎ゼミナール Introductory Seminar on Vision Science			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　　齋木　潤		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	教育・心理・社会(各論)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	水5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

講義形式の授業では伝えることの困難な「視覚科学」の研究の実際の現場に触れ、視覚による認識過程を科学的に研究する方法に関する知識を体験的に得ることを目指す。具体的には担当教員の研究室で行っている研究手法（行動実験、脳波測定実験、眼球運動測定実験など）を取り上げ、実験現場への参与観察（実験協力者としての参加を含む）と、実験手法に関するチュートリアルとディスカッションを通して研究の実際を理解する。
本講義では、各研究手法を用いたやや先端的な実験などを取り上げる。

[到達目標]

視覚に関する心理学実験を体験することにより、実験研究の基本的考え方を体験的に学ぶ。教科書的な知識と研究現場の関係、つながりを理解する。

[授業計画と内容]

第１回：オリエンテーション
第２回：行動実験　データ収集
第３回：行動実験　実験の解説
第４回：行動実験　結果の予測（グループディスカッション）
第５回：行動実験　データ分析
第６回：行動実験　関連論文の輪読
第７回：行動実験　結果のまとめと解説、ディスカッション
第８回：眼球運動測定実験　データ収集
第９回：眼球運動測定実験　実験の解説
第１０回：眼球運動測定実験　結果の予測（グループディスカッション）
第１１回：眼球運動測定実験　データ分析
第１２回：眼球運動測定実験　関連論文の輪読
第１３回：眼球運動測定実験　結果のまとめと解説、ディスカッション
第１４回：まとめ、質疑応答、全体のディスカッション
第１５回：フィードバック

[履修要件]

ILASセミナー：視覚科学を履修していることが望ましいが、必須ではない。ただし、履修希望者多数の場合は、ILASセミナー履修者を優先する。

[成績評価の方法・観点]

参加者は毎回の授業に出席しディスカッションに参加するとともに、PandAの課題ツールを使ってコメントを提出する。これを平常点とする。また、関連論文の輪読の回に論文担当を行う。さらに、取り上げた２つのテーマに関してレポートをまとめ提出する。レポートの内容は
・授業内容のまとめ（研究手法についての知識の整理）
・その研究手法を用いた具体的な研究のアイディア
・その研究手法に関する意見（手法の限界、利点、改善点、など）

視覚科学基礎ゼミナール(2)へ続く↓↓↓

視覚科学基礎ゼミナール(2)

成績評価の方法
平常点　２５％　論文発表　２５％　レポート　５０％
素点（100点満点）で評価する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業時間外に実験のデータ収集を行う場合がありうる。

[その他（オフィスアワー等）]

履修者制限：ゼミという授業の性格上、履修希望者が多数の場合は履修制限を行なう（２５名程度まで）。